

教科用図書の調査研究報告書（総括）

種目名	社 会（地理的分野）
-----	------------

発行者	総合的な所見
東 書	第1の観点 ①「地球の姿を見てみよう」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように/どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ②主な考察内容は、自然環境、交通や通信、人口や村落、都市、産業、生活・文化である。領土をめぐる問題をかかえる島々について写真や地形図を掲載して説明している。 ③主題は人口・居住・都市、国家間統合、食料生産や経済発展、地域格差、環境保全と開発、多文化社会の形成である。 第2の観点 ④巻頭ページに「地理を学ぶ5つのミカタ」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「人と自然のかかわり」「場所」「結び付き」「地域」を示している。 ⑤「アジア州」経済発展についての資料を発表し、それぞれの地域や国で経済が成長した理由とそれに伴う変化や課題を整理した図を参考に、単元の探究課題について、自分の言葉でまとめる活動を設定している。 第3の観点 ⑥諸地域の特色をおさえた上で、対話形式になっているキャラクターの吹き出しによって、探究課題へと思考の流れを導く工夫がされている。また、地形図の色使いが鮮やかで見やすい。 ⑦1ページ目で学習の手順を視覚的に捉えることができる工夫がされている。また、小学校からの学びのつながりが図示されている。 第4の観点 ⑧巻頭ページに世界の食事と共に生きる人々の様子がうかがえる写真資料を掲載することで、学習指導要領に示される「人間と自然環境との相互依存関係」という視点に着目させる構成になっている。 ⑨巨大地震の発生年度をグラフ化した資料や復興に関する資料を充実させることで、巨大地震の発生予測や防災に関して対話的な学習の深化を図る工夫がされている。デジタルコンテンツも用意されている。

	第5の観点 ⑩単元ごとに「導入」の動画、白地図、統計表、記述できるテキスト、ワードチェック、「まとめ」に活用できる二次元コードが掲載されており、復習、予習に活用できる。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文と資料のレイアウトは色で分けて示している。
教 出	第1の観点 ①「地図から見える世界」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのような～でしょうか。」「～比べましょう。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ②考察内容は、自然環境とその保全、人口集中や人口減少、歴史的な視点、産業、交通・通信、地域の伝統文化と産業の変化、自然環境と関連する産業である。日本の国境をめぐるさまざまな動きについて、地図や写真を示して説明している。 ③主題は、人口問題、環境問題、食料問題、多民族の共存の問題、都市問題である。 第2の観点 ④巻頭ページに、「地理の学習を始めるにあたって…」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や広がり（分布）」「自然環境との関わり」「場所」「結びつき」「地域」を示している。 ⑤「アジア州」経済成長によって生じた影響を、よい点と課題を整理した表から国・地域を1つ選び、そこで生じている課題の原因を考え、「持続可能な社会」のために必要な取り組みをグループで話し合う活動を設定している。 第3の観点 ⑥見開き1ページで、諸地域の特色を写真で捉え、学習の視点に思考を導く工夫がされている。 ⑦日本の7地方区分における課題の例が掲載されている。また、見方・考え方の視点が明記されており、探究学習の基本的な考え方が示されている。 第4の観点 ⑧巻頭ページにおいて、地理的分野の学習内容や学習の流れ及び本教科書の活用方法についての説明が充実している。 ⑨ハザードマップの活用重点をおき、避難や被害シュミレーションができる工夫がされている。

	第5の観点 ⑩各編ごとに二次元コードが掲載されており、学習に役立つ外部リンクが貼られている。単元終わりには語句チェックとしてのクイズができるようになっている。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文と資料のレイアウトは色で分けて示している。
帝 国	第1の観点 ①「私たちの住む地球を眺めて」のようにタイトルを示している。タイトルの右横に「どのように/どのような～だろうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ②考察内容は、自然環境、交通や通信、環境保全、産業、人口や都市・村落、生活・文化である。日本の領域とその特徴について、写真や読み物資料を用いて説明している。 ③主題は都市・居住、経済格差、食料、生産と消費、熱帯林の破壊、多文化の共生である。 第2の観点 ④巻頭ページに、「地理的な見方・考え方」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人間と自然との関わり」「他地域との結びつき」「地域の特徴」を示している。 ⑤「アジア州」1節の問い「アジア州では、急速に経済が成長したことによって、地域にどのような影響が生じているだろうか。」について、経済成長の背景などを図にまとめる活動を設定している。 第3の観点 ⑥諸地域の特色をイラストと写真で捉えた上で、学習の見通しをもたせる工夫がされている。また、デジタルコンテンツが充実しており、地形図クイズや見通しスライドなど、教材として使えるものが多い。 ⑦世界の諸地域における地球的課題、日本の諸地域における地域的課題及び地域の在り方を考える視点がカテゴリー別の表になっており、テーマ決定の際に活用できる資料が充実している。 第4の観点 ⑧巻頭ページにて、考えを整理する方法としてカテゴリー別思考ツールを4点あげ、その活用方法を説明している。また、巻末ページに用語解説のページはないが、デジタルコンテンツ上に用意されている。 ⑨地形イラストとハザードマップを活用し、避難・被害シュミレーションができる工夫及び、主体的・対話的な学習の深化を図る工夫がされている。

	第5の観点 ⑩巻頭6④の二次元コードを読み取り、13のコンテンツから必要とするものを選択して学習することができる。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文と資料と解説のレイアウトは混在している。
日 文	第1の観点 ①「地球の姿をながめよう」のようにタイトルを示している。タイトルの下に「どのように/どのような～でしょうか。」等の表現で、1時間の学習課題を示している。 ②考察内容は自然環境、交通・通信、歴史的背景、産業、人口や都市・村落、持続可能な社会づくりである。日本の領域をめぐる問題について、多くの写真を示して説明している。 ③主題は経済発展の地域格差や都市問題、統合のかけで広がる格差と対立、モノカルチャー経済からの自立、大量生産・大量消費の生活スタイル、熱帯林の伐採による環境破壊、多様な民族の共生である。 第2の観点 ④巻頭ページに、「地理的な見方・考え方って？」を設定し、「見方・考え方」として、「位置や分布」「場所」「人と自然とのかかわり」「地域同士のつながり」「地域」を示している。 ⑤「アジア州」学習内容を人口、資源・エネルギー、産業、他地域との関係・国際協力の視点で整理し、1節の問い「アジアの国々は、どのように経済発展しているのでしょうか。」をまとめる活動を設定している。 第3の観点 ⑥見開き1ページで諸地域の特色を写真で捉えた上で、地域の自然環境を大観させ、問いと問いに対する疑問や答えの予想をしていく工夫がされている。また、デジタルコンテンツが充実しており、活用しやすい。 ⑦シンキングツールや調査結果のまとめ方の例が充実しており、情報の整理分析及びプレゼンシート作成の際に活用できる資料が充実している。 第4の観点 ⑧巻頭ページにおいて、地理的な見方・考え方の説明が充実しており、デジタルコンテンツにおいても補足資料が用意されている。また、巻末ページにおいて国別、県別の統計資料が用意されている。

	⑨災害に関する写真資料が大きく見やすい。また、多様な地域の防災活動を写真資料として掲載している。さらに、デジタルコンテンツも充実しており、画面も見やすく、操作しやすい。 第5の観点 ⑩小單元ごとに二次元コードがあり、その単元の学習に役立つ動画やポートフォリオ、確認小テストなどのコンテンツが見付けやすくなっている。 ⑪ユニバーサルデザインフォントを使用し、本文と資料のレイアウトは特に色で分けてはいない。
--	---